

ワークショップ

ツゲに刻む 木口木版画 講座



木口木版とは

18世紀末、イギリスで発展した木版画技法です。密度の高い木口面を使用するため細密な描写が得意で、耐久性にも優れ、書物の挿絵などに活用されました。

郡山市立美術館では優れた木口木版画を数多く所蔵しています。

今回のワークショップでは、版木として希少な柾植（ツゲ）の木を使用します。

極めて緻密で均整な材であるツゲの木口面に、ビュランで繊細な線を彫って版画を制作します。初めての方もぜひご応募ください！

4日間で1つの講座となります

8/24 ① ・ 30 ② ・ 31 ③ ・ 9/7 ④

各日 10:00 ～ 16:00 (12:00～13:00 は昼食休憩)

講師 野口和洋 さん (版画家)

対象 中学生以上

定員 10名

場所 郡山市立美術館 創作スタジオ

参加費 材料費として 3,500 円

応募締切 8月10日 (日) 必着

応募方法

次のいずれかの方法でご応募ください。

【インターネット】

右の QR コードを読み込み、
応募フォームからお申し込みください。

＼ 応募フォーム ／



※ 応募が定員を超えた場合は抽選となります。
抽選結果は、メールまたはハガキにてお知らせします。

【はがき】

①～④をご記入のうえ、
右の宛先までお送りください。

＼ はがきの宛先 ／

- ①参加希望者氏名 (1通につき1名様)
②郵便番号 ③住所 ④電話番号

〒963-0666 郡山市安原町字大谷地 130-2

郡山市立美術館「木口木版ワークショップ係」宛

